

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	多様な生徒の進路希望 実現を目指し、生徒に 求められる資質・能力 を育むために、組織的 に授業の工夫・改善に 取り組む。	①新教育課程の実施によ り、生徒の多様な教育ニ ーズに対応する。 ②生徒が主体的に学ぶ意 欲を高めるため、ICT を活用した授業改善を図 る。	①新教育課程の実施、探究 活動の充実などにより、生 徒の多様な教育ニーズに対 応できているか検証する。 ②ICTを活用した授業展 開を研究し、生徒が主体的 に学ぶ意欲を高めることが できるよう、授業改善に取り 組む。	①新教育課程の実施、探究 活動の充実などにより、生 徒の多様な教育ニーズに対 応を検証できたか。 ②ICTを活用した授業展 開を研究し、生徒が主体的 に学ぶ意欲を高めることが できるよう、授業改善に取り 組むことができたか。					
2	生徒指導・支援	互いの個性を尊重し、 共に生きることの大切 さを学ぶことができる 生活態度の育成と組織 的な教育相談体制の確 立をめざした学校づく りを推進する。 学校行事の推進と部活 動の活性化をはかり充 実感の育成につながる 継続的な支援体制整備 に努める。	①日々の生活の中で、他 者の人格を認める教育活 動を実践するために、教 職員・保護者・専門職が 連携した相談・支援体制 を構築する。 ②学校行事や部活動、ボ ランティア活動を通じ て、生徒一人ひとりが輝 きながら活躍できる場を 設定する。	①登下校時を含む、教育活 動全般において、ルール・ マナー等の指導を行い、個 に応じた組織的な支援がで きるよう、SC・SSWと の連携を図る。 ②学校行事における実行委 員会の活動や運文連の機能 を活用した部活動の充実化 をはかる。	①交通、服装・頭髪・時間 厳守等、社会生活をしてい く上でのルール・マナーが 理解されているか。 ②個に応じた組織的な支 援、ケース会議、情報共有 会議等が必要に応じて行わ れているか。外部機関等と 連携できたか。 ③学校行事や部活動、ボラ ンティア活動を通じて、生 徒一人ひとりが達成感を持 てたか。適切な休養日を含 めた部活動の年間指導計画 を作成し、適切な運営がで きたか。					
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが共生 社会に生きる将来の自 分の姿をイメージし、 進路選択及び決定の能 力を身に付けることが できるように、組織 的・体系的に指導や支 援を行う。	①生徒が主体的に進路を 選択・決定する能力を身 に付けることができるよ う組織的なキャリア教育 を推進する。	①進路ガイダンスや各種説 明会を計画的に実施し、進 路選択に必要な情報を提供 することで、生徒が主体的 に進路について考える機会 をつくる。	①4月と1月に実施する進 路希望調査において、「未 定」と回答した生徒が具体 的な進路選択ができるよ うになったか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	地域住民と協働で活動する機会を通して、様々な課題を発見し解決する意識と知識を高め、地域の将来を担う人材を育成する。	地域住民や関係機関と連携し、生徒が地域の活動に参加できる機会を模索していく。また、その活動状況を地域に発信していく。	地域貢献活動、近隣のボランティア活動に参加しやすい環境を準備する。また、その様子をホームページ等で発信し、より多くの生徒に周知を図る。	活動の回数と参加者の増加が見込めたか。また、定期的に情報の発信がされたか。					
5	学校管理 学校運営	効率的な学校運営を推進し、各グループの業務内分担を見直すなど業務改善に取り組むとともに、安全安心な教育環境の整備及び事故不祥事防止ゼロを目指す。	効率的な学校運営に向けて、業務分担の見直し及び業務改善を行う。また業務を遂行するにあたり教育公務員としての責任を強く持ち、事故・不祥事防止に取り組む。	①可能な業務はICTを活用する。業務そのものの精選を進める。 ②日頃の点検を徹底し、不具合があれば職員の連携により迅速に対応する。	①ICT化を進め業務の精選ができたか。 ②職員間で情報を共有し、事故・不祥事ゼロが達成できたか。					